

令和5年度 幼稚園の学校評価(教員による評価)について

幼稚園名: 聖徳幼稚園

2024年9月1日

1. 幼稚園の教育目標

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、健康な身体および知的関心の育成に加え、豊かな情操の芽生えを養うことが大切であり、当園は、家庭と相携えて、これを追求してゆく。このため、幼児らが、一人一人の個性を受け止める教師との信頼関係のもとに、安定した情緒の中で、他の多くの幼児と共に伸び伸びと活動し、遊びを基本とした幼児期にふさわしい様々な園生活を体験してゆくことを通して、次の様な目標が達成されるよう、適切な環境と指導を与えてゆく。①仏教的環境の中で、思いやりと感謝の心を育てる。②健康・安全の習慣を養い、運動の好きな子を育てる。③信じあう喜びを知り、社会性の芽を育てる。④自然の恵みに感動し、愛情と探求の心を育てる。⑤良い事と悪い事の区別を知り、我慢する心・努力する心を養う。⑥言葉の喜びを知り、お話や文学への興味を養う。⑦音楽や造形の喜びを知り、表現の楽しさを知る。

2. 評価項目の状況および取り組み状況など

教員による現況評価(教員 I, II, III, IV, V, VI, VII, 総合)

(A: 十分達成されている B: ほぼ達成されている C: 達成されているとは言えないが、努めている D: 全く達成されていない)

No	自己評価項目項目	I	II	III	IV	V	VI	VII	総合
1. 教育課程・指導									
1-1	建学の精神や教育目標が教育活動に反映されている。	A	A	B	B	B	B	C	B
1-2	幼稚園の教育課程や教育課題などについて教職員間でよく話し合い、改善に努めている。	A	B	B	B	B	B	C	B
1-3	年間の指導計画や週案などが作成され、適切に教育課程が実施されている。	A	A	B	B	B	B	B	B
1-4	教師間で保育について話し合い、評価・反省して次の保育に生かすことができるような体制ができている。	A	A	A	A	C	B	B	B
1-5	幼児に適した環境に整備され、遊びを通しての総合的な指導が行われている。	B	B	A	B	C	C	C	B
1-6	幼児の主体的な活動を尊重し、一人一人の発達の特性にに応じた指導が行われている。	A	A	A	A	B	B	B	A
1-7	小学校生活に期待と憧れを持たせる機会を設け、小学校生活や学習に繋がる指導を行っている	A	A	A	A	A	B	B	A
2. 健康・安全									
2-8	保健計画を立て、病気予防、換気、採光、照明、保温等の環境衛生の維持管理を行っている。	A	A	A	A	B	B	B	A
2-9	健康診断(内科検診・歯科検診)の結果について保護者に伝達し、保育に反映させている。	B	A	A	A	A	B	B	A
2-10	健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる。	B	A	A	A	B	C	C	B
2-11	感染症発生時又はその予防対策を、地域の保健・医療機関と連携して取り組めるよう体制が整っている。	B	A	A	A	B	C	C	B
2-12	緊急事態発生時に関係機関との連携を行うための共通理解が図られている。	B	B	B	B	B	C	C	B
2-13	法定の学校安全計画や、学校防災計画を作成し、実施している。	A	A	A	A	B	C	B	B
2-14	危機管理マニュアルの作成を行い、教職員が役割を把握し訓練を行っている。	A	A	B	B	B	B	C	B
2-15	交通安全や不審者対策、遊具の安全な使い方についての指導を計画的、継続的に行っている。	A	B	B	B	B	C	C	B

3. 特別支援教育									
3-16	特別に支援が必要な幼児には、必要に応じて医療や訓練などの専門機関や専門の教育機関と連携している。	A	B	A	A	B	B	B	B
3-17	特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画や教育支援計画を作成している。	A	A	B	A	B	B	B	B
3-18	特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者と十分に行い、就学指導委員会と就学する小学校に適切な助言と申し送りを行っている。		A	A	A	A	B	B	A
3-19	特別に支援が必要な幼児を取り巻く大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め、互いに尊重できる子どもの人権教育に配慮している。	A	B	A	B	B	B	B	B
4. 組織運営									
4-20	設置者・園長は、園の方針を全教職員に明示し、リーダーシップを発揮している。		B	B	C	C	C	C	C
4-21	園の業務について、その責任者、担当者が明確にされ、必要な人員が配置されている。	A	B	B	B	C	C	B	B
4-22	園の財務運営について、財務分析が行われ、それに基づき予算・執行・決算などの会計業務が行われている。			C	C	C	C		C
4-23	学園の決算は、適切に公開している。または、関係法令の定めにより公開できる状態にある。			B	B	C	C		C
4-24	個人情報保護の方針が定められており、園児、保護者、ならびに教職員の個人情報が入正しく管理され、個人情報保護に関しての教職員の研修が行われている。	A	B	B	B	C	B	C	B
4-25	園運営の事務処理について、必要な情報化を進めている。	B		B	B	C	C		B
4-26	園運営に関係する諸法令を把握して、遵守する体制を整えている。	B		B	B		C		B
5. 研修(資質向上の取組)									
5-27	校内で幼児理解を深めるため事例検討会等が定期的に行われている。	B	C	B	B	B	C	C	B
5-28	校内で保護者支援・学級運営等の学習会が定期的に行われている。	C	C	B	C	C	C	C	C
5-29	幼児の事例等を記載した紀要の発行や報告書作りがなされている。	B	C	B	C	B	C	C	C
5-30	他の幼稚園の公開保育や各種研修会に参加できる仕組みが整っている。	A	B	B	B	A	B	B	B
5-31	臨時・非常勤教職員の資質向上に向けた取組がなされている。	B	B	C	C	D	C	C	C
5-32	指導が不適切である教員の状況の把握と対応がなされている。	B	A	B	B	D	B	C	B
5-33	上級免許や他の資格等の取得、免許の更新制等の便宜をはかることがなされている。	A	A	B	B	B	B	B	B
6. 教育目標・学校評価									
6-34	幼稚園の状況を踏まえ、本年度の重点化された教育の目標等を設けている。	B	B	B	B	C	B	C	B
6-35	自己評価を年に1回以上定期的実施し、その結果を翌年度の目標等の改善へ活用している。	A	C	B	A	C	B	C	B
6-36	自己評価の結果やそれを踏まえた改善の方策を保護者等に公表している。	B	C	B	A	C	B	B	B
6-37	学校関係者評価について、実施に向けて組織の構成や実施方法等について検討を進めている。	B		B	B		C	C	B
6-38	家庭への連絡や意見・要望の把握等で意思の疎通を図るよう努力するとともに、保護者がいつでも相談できる体制ができている。	A	A	A	A	B	B	B	A

7. 情報提供									
7-39	園の教育方針、教育内容、施設設備、保育料など、保護者に必要な情報を適切に提供している。	A	A	A	B	A	B	C	B
7-40	オープンスクールなどの園公開の日を設けている、もしくは、園見学を適切に受け付けている。	A	A	A	A	A	B	B	A
7-41	園児ならびに保護者の個人情報について、その取り扱いについて正しく周知している。	A	A	A	B	A	A	C	A
7-42	保護者に対して、園だより、クラス便りなどを使い、園の教育について適切に情報を提供している。	A	A	A	A	A	B	B	A
7-43	園の情報をより広く提供するために、ホームページ・ブログ・メール等を活用している。	A	A	A	A	A	B	B	A
8. 保護者・地域住民との連携									
8-44	懇談会や意見交換会など保護者との情報交換の場を積極的に設けている。	A	A	A	A	B	A	B	A
8-45	保護者の保育活動への参加や、行事運営の手伝いなどの協力が得られている。	A	A	B	A	B	B	B	B
8-46	幼稚園が地域の連絡会や行事などに参加したり、地域住民が園の行事に参加したりする機会がある。	C	C	B	A	C	B	B	B
9. 子育て支援									
9-47	子育て支援活動は、地域や保護者の実情や要望に応えられる工夫を行っている。	A	B	A	B	C	B	C	B
9-48	子育ての悩みや、不安を抱えた保護者に対して、気軽に相談できる園内体制を整えている。	A	B	A	A	C	B	B	B
10. 預かり保育									
10-49	保護者の実情や要望を取り入れて、預かり保育を実施している。	A	A	A	A	B	B	B	A
10-50	幼稚園の目的、教育課程との関連を考慮し、幼児の負担に配慮した預かり保育を実施している。	B	B	A	A	B	B	B	B
11. 教育環境整備									
11-51	施設・設備の安全・維持管理のための点検と整備をしている(耐震診断・耐震化への取り組みを含む)。	B	A	A	B	A	B	B	B
11-52	設置者と連携して、幼児がさまざまな活動するのに適した遊具・用具・図書等を整備している。	B	B	A	B	B	C	C	B

3. 「総合的な評価結果」は、次ページより

3. 総合的な評価結果(先生方の評価を見て、園長・設置者〈文中、私達〉の立場から)

1. 教育課程・指導

- 1-1 「聖徳太子の和の精神ならびに親鸞聖人の精神を指標と」する建学の精神は、創立以来75年の伝統の中で、教職員の中にほぼ根付いているのではないかと思います(必ずしも自覚的ではないようですが)。それは、子どもたちや保護者に対する優しさや、仲間内の協調精神に充分現われているような気がします。「教育目標」については、この書面の冒頭に掲げました「個性の受け止め」「信頼関係」「安定した情緒」「伸び伸びと活動」などに始まり、先生方は100%に近くやって下さっているように、私達には思えます。しかし、昨年よりは大幅好転しているのですが、先生方の目を通した評価ではまだまだ厳しいものとなっています。園内での研修・話し合いが足りない事によるのでしょうか。今一度、建学の精神と教育目標を全員で再確認して行きたいと思えます。
- ちなみに、保護者アンケートでは、「教育の理念や方針を分かりやすく伝えていると思いますか」の問いに対し、「思う」69%、「やや思う」29%、「あまり思わない」2%でした。そして、保護者のご意見欄を一つ一つ読ませて頂くと、「教育目標」に示されている点について大いに評価し、受け止めて下さっていることを感じます。条文としてはまだまだでも、内容としては十分に受け取って下さっていると思いますので、先生方ももっと自信を持って頂いてもよいのではないかと思います。
- 1-2 毎日の課題や共通の行事については教職員間でよく話し合いが行われていますが、満2歳児から5歳児までの系統的な教育課程の整備がまだ不十分だと思います。中々忙しいですが、外部研修にも積極的に参加し、学んだ事を共有して、早急に整備していきたいと思えます。
- 1-3 週案は全クラス作成ほぼ実施されていると思えます。全体の教育課程との関連で、更に詰めてゆきたいと思えます。昨年より少し良くなりました(評価が)。
- 1-4 話し合いにわだかまりが無く、よく話し合いができていないかと思っています。
- 1-5 十分に整った環境とまでは言えないかも知れませんが、どのクラスも、工夫した指導が行われていると思えます。
- 1-6 ほぼ良好と思えます。
- 1-7 教育委員会の指導も充実して来、小学校と校区内各幼稚園・保育所も参加して好ましい協力関係ができていると思えます。

4. 健康・安全

- 2-8 各クラスでは、それぞれ気を配って維持管理していると思えます。ホールも大変恵まれた広さ、高さ、空調設備があり、温暖化が進む中でも、子ども達は十分に活発に活動できています。
- 2-9 総合評価(各教員の評価の平均値)の通りと思えます。
- 2-10 昨年より自己評価を少し落としましたが、5歳児、4歳児、3歳児、それぞれに園庭のプランターを使って、色々な野菜の栽培と収穫をし、全園児で食味。さらに、4歳児による芋苗の植え付けや4、5歳児による収穫。そして5歳児による買い物や、調理、一堂に会してのお楽しみ給食等、体験を通した理想的の食育も行われていると思えます。教員たちの評価が今一つ低いのは、週3回(月により4回)の給食が、外部搬入の業者給食(福井大学附属幼稚園等にも供給している日本ミール株式会社、バケツで搬入し、園で温めたりして、教室で教師が盛り付けている)で、必ずしも幼児向きの内容ではなかったりすることによると思えます。でも業者と話し合いをして、随分改善されたと思えます。ちなみに、保護者アンケートでは、思う75%、やや思う23%、どちらともいえない2%となっています。
- 2-11 ほぼ整っていると思えます。
- 2-12 地震や火災の避難訓練は定期的に行っています。共通理解はまだ充分ではないと思えます。
- 2-13 昨年度の県・市の監査が厳しかったこともあって、随分整備しました。
- 2-14 訓練を充分に行うまでは行っていませんが、マニュアルの作成は、一応整いました。
- 2-15 交通安全については計画的、継続的に行っていると思えます。不審者対策も、5年度には、設備・訓練とも、少し進みました。

特別支援教育

- 3-16 連携はほぼできていると思えます。
- 3-17 中々成果が見えにくい課題かと思えますが、特別支援のためには教師を加配し、観察記録も詳細に記すなど、園としても特別な配慮を一貫して行って来ました。個別の「指導計画」までは無いと思えますが、「教育支援計画」は、市の指導員の指導も仰いで、ケース会議を行い、大まかな計画も立てています。支援を受けているお子様は、活動に完全には参加できていない場合でも、安定した情緒の中で、心の中で共通体験をしていることも多いので、自信を持ってしっかりと続けて頂くことが良いかと思えます。ちなみに、5年度の保護者アンケートでは、「障害のある幼児への対応が十分なされていると思えますか。」の問いに対し、42%が「思う」、27%が「やや思う」、31%が「どちらともいえない」と、大幅低い評価になっています。これは、一般の保護者の方が、問題の存在にさえ気が付かないくらい、教師が上手に対応しているということでもあります。近年、小学校では6~7%の児童に(軽度も含め)発達障害~情緒障害が見られ、特別支援教育の対象となっていると言われます。当園でも例外ではありません。当園では、発達に遅れが見られるお子様や、保護者が心配しておられるお子様について、福井市の子育て

支援課と連携して、そうしたお子様も十分に発達環境が保障され、成長が遂げられるよう、きめ細かい対応をしており、効果も実感しています。親御さんの方でも、「ことばの教室」や、県療育センターや発達クリニックに相談に行かれたり、決して孤立することなく、心の余裕を持って子育てをしてゆける環境が整ってきました。当園の対応を喜んで下さる保護者の方も多くあります。これからも、教職員も積極的に研修等に参加したりして、心と技量を磨いていきたいと思えます。

3-18 中々難しい課題ですが、悩みながらもよく努力していると思えます。

3-19 子ども達の中では、既に何のわだかまりもなく互いに尊重し合ってくれていると思えます。大人たちにもほぼ反映されているのではないのでしょうか。

5. 組織運営

4-20 当園は事務職員も置く余裕が無く、特に数年前に子育て支援新制度になってからは、事務手続きが極めて複雑・難解で、理事長も園長も日々事務処理に追われているのが現状です。この評価を重く受け止めて何とか改善して行きたいと思えます。

4-21 先生方には、大変、色々なことを進んでカバーして頂き、済みなく思っています。昨年よりは少し評価がアップしました。

4-22 園の財務運営については、毎年必ず、法人の監事による監査、理事会・評議員会への報告。両合同会議での予算案説明、決算報告、審議を行っています。先生方には、評議員となっている主任の先生を除き、余り内容はご存知ないと思えます。財政状況は中々苦しいのですが、待遇改善を含め、懸命に頑張っていることをお汲み取り下さい。

4-23 公開はしていませんが、いつでも公開できる状態にあります。

4-25 近年は、県・市との事務処理手続きは、ほとんどがメールを通して行っています。

4-26 分からないことが生じた場合は、まず諸法令を吟味・解釈し、それに基づいた事務処理を心がけています。

5-1 研修(資質向上の取組)

5-27 正式な事例検討会はあまり行われていませんが、毎日の職員会議や自由な会話を通じて、共通理解はかなり進んでいると思えます。全教職員が、全ての園児に対し、愛情を持って気配りしていることが、当園の特長の一つかと思えます。

5-28 研修は関係機関のみが実情で、校内での学習会はまだ少ないです。

5-29 紀要の発行や報告書作りまでは、中々できていません。

5-30 機会があれば、自園の保育に大きく支障のない限り、参加してもらっています。特に夏期休業(預かり保育は実施)期間中は、極力参加を推奨しています。

5-31 臨時・非常勤教職員の研修会参加は、していた時期もありますが、今は園・本人双方の事情によりできていません。今後考えて行きたいと思えます。

5-32 常にオープンに話し合っているため、特に不適切な指導が重なって問題となるようなことが無いと認識している。

5-33 教員の保育士資格取得および免許更新については、なるべく便宜をはかっているし、成果も現れていると思えます。

6-1 教育目標・学校評価

6-34 年度毎に特に重点化された教育の目標はあまり必要を感じておりません。

6-35 教員および園長・設置者による自己評価は、毎年定期的に行っています。その結果を、もっと活用していきたいと思えます。

6-36 ホームページには公表している。

6-37 保護者アンケートについては、毎年実施し、その結果や改善の方策を保護者等に公表しています。

6-38 先生方の努力のお陰で、このような評価を頂き、嬉しく思います。

7. 情報提供

7-39 大分整ってきたと思えます。

7-40 園見学には、極力応じていると思えます。

7-41 一層厳格にしていきたいと思えます。

7-42 近年、先生方の努力の甲斐あって、本当に良くなったと思えます。

7-43 ホームページ、ブログ、メール等、随分活用が進んでいると思えます。

8. 保護者・地域住民との連携

8-44 当園の保護者の方は、大変協力的で、意思疎通もでき、有難いと思えます。

8-45 お陰様で、有難いです。でも、コロナ時期の影響が、少しは残っていると思えます。

8-46 連絡会には、園長が参加しています。地域の商店街の夏祭りや、地区の敬老会への参加は、コロナ空白の影響で随分少なくなりました。

9. 子育て支援

9-47 月2回ほどの未就園児教室を行っています。広いホールがあるので、喜んで頂いていると思います。

9-48 十分ではありませんが、そのような心構えを持っていると思います。

10. 預かり保育

10-49 預かり保育を利用している子どもたちは、大変充実した時を過ごしていると思います。

10-50 人数も過密でなく、皆で紙芝居を観たり、その後は伸び伸びと活発に遊ぶ子も有り、のんびりとままごとや絵本に見入っている子もあり、ゆったりとした空間と時間があるので、良いのではないのでしょうか。二人のベテランのパートの先生のもと、いつ見ても子ども達は楽しそうで、また、折り紙を教えてもらったり、本当に貴重な時間を過ごしていると思います。

11. 教育環境整備

11-51 耐震化は100%終了しました。

11-52 お金のかかる遊具には手が出ませんが、既設の遊具を大事に使っていきたくと思います。用具は必要に応じ補充しています。図書は、かなり充実していると思います。近年は温暖化が進み、屋上プールの陽射しが暑くあたるので、県の補助金も利用し、プールを蔽うテントや、準備スペースにもテントを設置しました。

終わりに

教員による学校評価を見てみると、私達の至らない点が多く、責任を痛感します。

項目設定は、平成21年度に全日本私立幼稚園協会が設定したもので、今日でも十分通用するものと思います。

基本的に、A、B、C、Dの4段階評価になっていることは、再確認して頂きたいと思います。また、組織運営や財政のこと等、分からないことについては、無回答でも良いことにしました。「総合」の欄は、各教員の評価の平均です。

1の「教育課程・指導」と5「研修(資質向上の取組)」について、関連づけて少し述べておきましょう。

当園は、全日本私立幼稚園連合会に加盟し、また、福井県私立幼稚園・認定子ども園協会に加盟しています。毎年、夏休み期間を中心に、県協会主催また、公立学校の先生方を含めた県幼稚園教育研究会、さらに東海北陸規模の幼稚園教育研究会があり、当園の教員も積極的に参加しています。また、県教育研究所主催の研修会も数回あり、できるだけ参加しています。本園の教員も毎年数回の研修に参加しており、園長・理事長も参加していますが、内容が深く、かなりの資質向上に繋がっていると思います。

また、当園は、浄土真宗本願寺派の保育連盟(幼稚園・保育所・認定子ども園全てを含む)に加入しており、ここではまた親鸞聖人に学んで人間的視点を深く掘り下げた「まことの保育」の実践が行われています。福井教区の毎年6月最終土曜日に行われる保育従事者研修会には、当園からも毎年全員参加を果たしています。

どの職業も、顧客への愛と、自己への厳しさが求められると思いますが、幼稚園の教員も、幼子のいのちの躍動と、保護者の願いに向き合って、自己を厳しく鍛錬してゆくことが求められます。また、「まことの保育」では、さらに深く掘り下げた研鑽が行われていると思います。先生方は、まじめにそれらに取り組んで来た中で、大きな成長を遂げていると思います。

先生方の「学校評価」には、そうした自己への厳しさも、少し反映されているのではないかと思います。

それにしても、私達理事長・園長の力不足については、日頃より痛感しているところです。私達も、熱心に研修等参加していますので、長く見守って頂きたいと思います。

また、保護者アンケートとも併せて見て頂くことをお願いしたいと思います。

令和6年9月 「教員による学校評価」を受けて

聖徳幼稚園 園長 北條 琢生

理事長 北條 紘文